

拝啓 鴨川に渡り鳥が戯れる候になってきました。

皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素から格別のご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

さて、本日は突然ですが CD をお送りさせていただきました。

タイトルの『うみは待っている』この詩は、私が作詞してシャンソン歌手の堀田さちこさんが曲をつけてくれました。聴いていただければ大変に嬉しく存じます。

ワンルームマンションの一室から出発した莫設計同人は 31 年になりました。

若い時から、社会福祉に関わる設計の仕事をしたいと思い今日まで続けてまいりました。その考えは今も変わらず続いています。

平成 18 年には、国立大学法人 福井大学で「認知症高齢者・重度障がい者の食と住環境に関する仮設と検証」で工学博士の学位を授与されました。その後も認知症、障がい者、子どもそして、ひきこもり、精神障がい者、発達障がいのひと達等、社会的弱者のひと達と手を携えて仕事を続けてまいりました。その中で、応援やお叱りをいただいた方々は、北海道から九州まで広きにわたっています。私は建築設計という仕事を通して、人が少しでも元気になって社会の一員として、役に立って生きていけると感じていける社会を目指し仕事を続けてまいりました。その実現のためにこれからもさらに勉強を続ける所存です。

仕事を通して出会った知的障がい児の施設が今回の CD の舞台です。そこには虐待、育児放棄、貧困、家庭内暴力等さまざまな理由で親と切り離さざるを得ない子ども達や乳児院から措置されてきた子ども達が、共同生活を送り社会に巣立っていくための力をつけるために暮らしています。

場所は熊本県天草市です。

ここで暮らす子ども達は、一番信頼する親とさまざまな事情で離れざるを得ず大変厳しい状態に置かれています。でも、精一杯生き抜いています。私はそのような子ども達へ応援の意味をこめてこの詞をつくりました。また、(株)莫設計同人を設立して 31 年の節目にもなり、私を応援していただいた方たちへの感謝もこめられています。

今後も勉強を重ね、社会的に厳しいひと達に笑顔がこぼれる社会を目指して、より一層頑張っていく所存です。

本格的に冬将軍がやってきました。

体調を崩さないようにくれぐれもご自愛ください。

敬具

松村正希